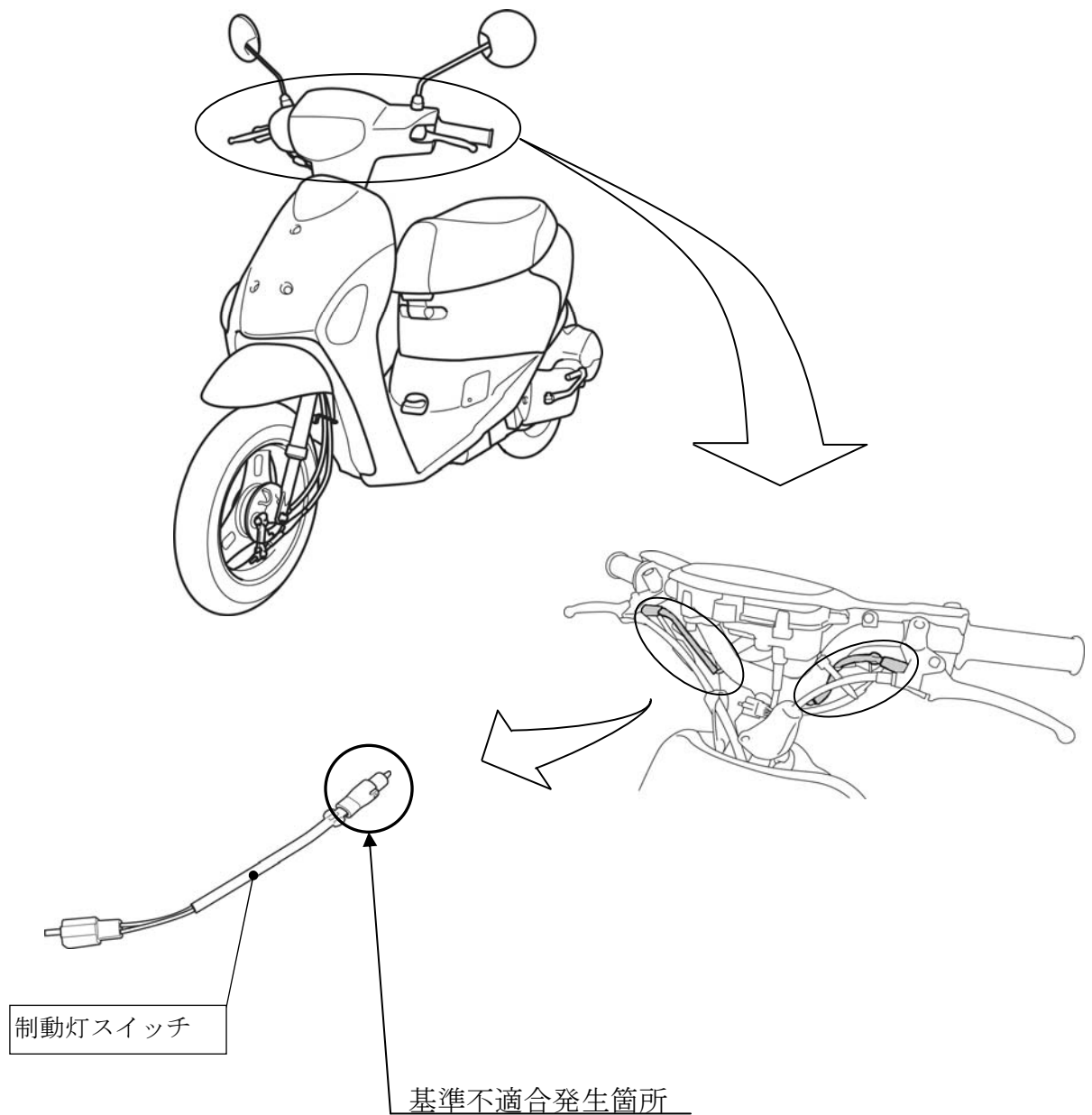


改善箇所説明図①



制動灯スイッチ内部の接点構造とグリスの組み合わせが不適切なため、アークにより接点部に絶縁物が生成されることがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該接点部の電気抵抗が増大して導通不良となり、制動灯が点灯しなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、制動灯スイッチを対策品と交換する。

注： ☐ は交換部品を示す。

識別：ブレーキスイッチのプッシュロッドの色で容易に識別できるため、特別な識別は行わない。
(改善前は白、改善後は黒)